

2023年11月1日

報道関係各位

## 熊本県甲佐町、宮内地区山椒生産組合との 包括連携協定を締結

被災農地や耕作放棄地の活用による地域活性化へ

株式会社ツムラ（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：加藤照和、以下当社）は熊本県上益城郡甲佐町（町長：甲斐高士、以下甲佐町）、宮内地区山椒生産組合の三者間で、11月12日（日）に包括連携協定を締結することをお知らせいたします。

### 1. 当社の取り組み

当社では豊かな自然環境を未来につなげていくため、サステナビリティビジョン「自然と生きる力を、未来へ。」を掲げ、持続可能な人間・社会・地球環境の実現を目指しております。当社の事業は原料生薬の栽培から始まる漢方バリューチェーンによって構成され、自然環境と深い関わりがあります。また、国内の漢方市場拡大に伴う生産数量増加に対応するため、漢方薬の原料となる生薬のさらなる安定調達を目指すと共に国内での調達拡大を推進しております。

今回の協定締結を通じて、甲佐町の被災農地や耕作放棄地の活用による地域活性化や、生薬栽培を通じた新たな地域雇用の創出に向けた生薬生産事業を進めてまいります。

### 2. 協定締結の背景と今後の予定

甲佐町では、2016年の熊本地震直後の豪雨災害からの復興活動として、2019年度から同町宮内地区の耕作放棄地や被災農地を活用した「山椒」の栽培に取り組まれています。2021年度には、宮内地区山椒生産組合と契約を結び、中山間地域の特性を生かした生薬を生産いただいております。協定締結により、これまで宮内地区のみで行なってきた生薬の

自然と健康を科学する

### お問い合わせ先

株式会社ツムラ コーポレート・コミュニケーション室 広報グループ 担当：瀬戸、吉崎  
〒107-8521 東京都港区赤坂 2-17-11 TEL.03-6361-7100 [shuzai@mail.tsumura.co.jp](mailto:shuzai@mail.tsumura.co.jp)

生産を甲佐町一円での取り組みへと拡大するため、2024 年をめどに「農事組合法人緑川流域生薬生産組合」を設立する予定です。

### 3. 生薬について

山椒はミカン科のサンショウの成熟した果皮で、果皮から分離した種子をできるだけ除いたものです。日本では古くから食用および薬用として広く利用され、当社の販売金額 1 位である大建中湯（だいけんちゅうとう）などの漢方製剤に配合されております。

生薬生産の利点は鳥獣害に強いものが多いこと、また他の農作物と比べて軽く、軽作業が多いため高齢者が多い地域でも対応可能なことがあげられます。生薬原料として安定的な価格で取引が行えることも、他の農作物にはないメリットとなっております。

当社は、今回の締結を通じて生薬生産を拡大し、高齢化や鳥獣害、耕作放棄地の増加などの地域課題解決に貢献してまいります。

### 4. 包括連携協定 調印式概要

日 時：2023 年 11 月 12 日（日）9 時～

場 所：熊本県 甲佐町役場内「生涯学習センター輝 ホール」

(住 所：〒861-4696 熊本県上益城郡甲佐町大字豊内 719 番地 4)

出席者：甲佐町長 甲斐 高士（かい こうし）

株式会社ツムラ 生薬本部長 平手 豪巳（ひらて たけみ）

宮内地区山椒生産組合 組合長 田上 菊夫（たのうえ きくお）

内 容：経緯説明、協定書署名、各代表者挨拶、記念撮影などを予定

以上